

燃えるごみの減量を目指して!

その **1g** を

けずりだせ

小城市の燃えるごみの量は年間約 **10,000** トン

一人が出す量はわずかでも、積上げればとてつもなく大きな数字。

市民みんなが1日1gだけごみの分別に取り組んだら、1年間で燃えるごみを約**17トン**削減できます。各家庭で、事業所で、今捨てようとしている「ごみ」のことを、ちょっとだけ考えてみてください。

捨てるなんてもったいない
その**1g**をけずりだせ

資源が有効に活用される循環型社会の形成をめざして
そして次の区間を担う子どもたちの未来にむけて

さあ！タスキをつなぎましょう！



「その1秒をけずりだせ」

— 東洋大学スピリッツ —

平成23年第87回箱根駅伝で、早稲田大学にわずか21秒差で敗れた悔しさから生まれたチームスローガン「その1秒をけずりだせ」。

平成26年の箱根駅伝では選手たちは「その1秒をけずりだせ」を腕に記して走った。このスローガンには、普段の練習から1秒を大切にし、一瞬の喜びのために日常の1秒さえも無駄にしない等、東洋大の選手、マネージャーも含めた全部員の思いがこめられている。



東洋大学陸上競技部
長距離部門
さかい としゆき
酒井 俊幸 監督

今回縁ありまして、私たちのチームスローガンを小城市のごみ減量の取り組みに活用したいという話をいただき、小城市民の背中をちょっとでも押すことができればと快諾をさせていただきました。小城市のごみ減量の取り組みが、大きな市民の和となって前進していきますよう、心から応援しています。

がんばれ小城市！
がんばれ小城市民！



～ 小城市ごみ減量啓発ポスタースローガン ～

その1gをけずりだせ

～燃えるごみの減量を目指して！～

小城市では、年間に約10,000トンの燃えるごみが出ています。この燃えるごみを「ごみから資源へ」として活かしたい熱い思いを、市民の皆さんにお伝えしたく「その1gをけずりだせ」をキャッチフレーズにごみ減量に取り組んでいます。

平成23年に開催された、第87回箱根駅伝において総合優勝は早稲田大学、第2位の東洋大学は、その差21秒で涙をのみました。この時の悔しさから生まれた東洋大学のチームスローガンが「その1秒をけずりだせ」でした。

このスローガンを小城市ごみ減量の取組キャッチフレーズとして活用できないかと思い、東洋大学陸上競技部 長距離部門 酒井俊幸監督のご協力のもと、「その1gをけずりだせ」をキャッチフレーズにしたポスターを作製し、市内各所に掲示しています。

小城市民一人ひとりが少しずつでも「ごみから資源へ」の思いを持って「ごみ減量」に取り組んでいきましょう！！

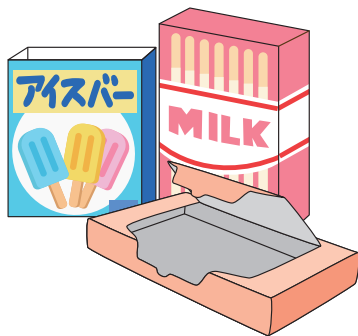
燃えるごみの中から資源になる紙などを分別し、燃えるごみの削減に小城市民一丸となって頑張りましょう！



例えば、写真のような雑紙を燃えるごみから第1水曜日の資源収集日へと分別すれば「その1g」がけずりだせます！！

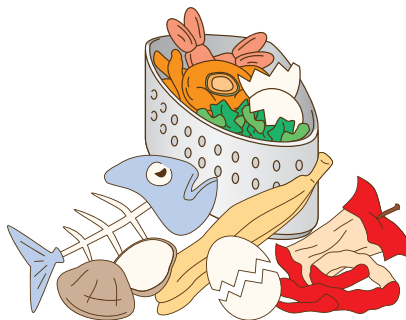
1gのごみを資源へ!

ごみ袋の中には量が減らせる物や、多くの資源物が入っています。
ごみ袋の中身をのぞいてみて、量を減らすことができる物や資源物
を探してみましょう!



雑紙類は 第1水曜日の 資源物の日へ

何気なく燃えるごみに捨て
ているお菓子や食品の箱は紙
ではありませんか? 分別すれ
ば資源として再利用できます!
分別して第1水曜日の資源物
として活かしましょう!

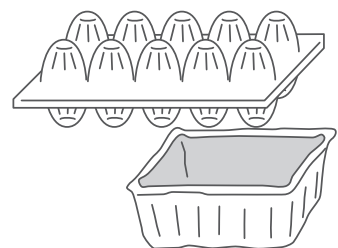


生ごみは水の塊! 水気を切って ごみに出そう!

生ごみには多くの水分が含
まれています。この水分が臭
いの元となったり、ごみ袋が重
くなる原因になります。

必ず生ごみは水気を切って
ごみに出しましょう!

生ごみは堆肥にもなり資源
として活かされます。詳細は環
境課に問い合わせください。



ごみ袋の 多くを占めている プラスチック類

たまごパックや惣菜容器な
どのプラスチック類は第2水曜
日の資源物の日に出すことが
できます。

ごみ袋の中には資源物に出
せるプラスチック類が多くあり
ますので「燃えるごみ」ではな
く「資源物」として活かしま
しょう!



紙箱も分別すれば資源です！

問 環境課（西館1階） ☎37・6102